

2016年度 事業報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

特定非営利活動法人森づくりフォーラム

1 事業の成果

「2016森林と市民を結ぶ全国の集いin東京」を実施し、森林に関わる団体・関係者ネットワークはさらに拡大し、若年層とのつながりも構築し始めました。また昨年度実施した「森林づくり活動の実態調査」の流れを受けて、本年度は調査結果の詳細な分析、および課題を抱える森づくり団体の参考・指標となる団体調査を実施しました。その他に一般都市住民向けの普及啓発として連続講座「森から人へ 人から森へ」を今年度も継続し、計3回を実施しました。また、情報発信をより強化していくために、グリーンボランティア保険の新パンフレットの作成、および森づくりフォーラムHPリニューアルに向けた準備を進めました。

事業名	内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
広報事業	機関紙「森づくりフォーラム」の発行、HPの更新、メールマガジンの発行（月2回）	4月～3月	東京	2人	5,160人	782
森林社会学会創設準備	森林社会学研究会の発足、連続講座シリーズを企画。計3回実施。	4月～3月	東京	3人	164人	883
市民・子どものための森林・環境教育総合講座	木下沢一帯において親子自然体験イベントを開催。4/17にシンポジウム「森づくり・野外活動の安全を考える」を開催した。	4月～3月	東京	3人	127人	1076
森林づくり活動実態調査	今後の森林づくり活動を担うモデル10団体の調査、そのフィードバックシンポジウム等を開催した。	4月～3月	東京	3人	1232団体、89名	2781
森林と市民を結ぶ全国の集い	第20回を2016年6月11日～12日に東京農業大学で開催。実行委員会を立ち上げ、東京事務局として企画・運営を実施した。	6月～3月	東京	4人	347人	4670
グリーンボランティア保険業務	グリーンボランティア保険の窓口業務	4月～3月	全国	2人	55,078人	1944
フォレスト21「さがみの森」	フォレスト21「さがみの森」の管理作業、森林ボランティア体験活動	4月～3月	神奈川	1人	253人	1355

多摩の森・大 自然塾	森林ボランティア講座、初心者向け講座、定例活動などを開催	4月～3月	東京	3人	558人	2011
プルデンシャル生命保険寄附選定	プルデンシャル生命保険のE約款移行に伴う寄附金。その寄附先団体の選定及び振込業務。	4月～3月	東京	2人	56団体	119
企業の森づくり	東京都花粉の少ない森づくり参画企業の社員向け森林整備研修及びイベントの実施	4月～3月	東京	2人	60人	174
木下沢溪谷・冒険の森	八王子市高尾山の木下沢にて森林整備・管理作業	4月～3月	東京	2人	158人	1305
森づくり団体の意見交換会	東京都西多摩エリアの森づくり活動団体との情報交換を2回開催した	4月～3月	東京	2人	29人	130

(2) その他の事業

I. 事業に関する事項

1. 森林社会学研究会事業

[助成事業]

実施期間	2016年4月～2017年3月
実施場所	本会事務所、文京シビックセンター
主担当者	原田、松井、宮本
従事者の人数	3名
受益対象者の範囲及び人数	164名（下記企画委員会、講座参加者の総数）
会議等の実施日時・人数	<ul style="list-style-type: none"> ・7/7 第4回企画委員会 場所：文京シビックセンター 人数：7名 ・10/1 第5回連続講座 場所：文京シビックセンター 人数：65名 ・12/3 第6回連続講座 場所：文京シビックセンター 人数：32名 ・2/4 第7回連続講座 場所：東京大学農学部弥生講堂アネックス 人数：60名 ※第7回のみ林野庁補助事業枠で実施
2016年度報告	昨年度よりスタートした連続講座「森から人へ 人から森へ」の今年度開催分の企画内容を計画し、企画委員会を1回開催、講座を計3回実施した。第5回：林業家から見た日本の森林 講師：速水 亨 第6回：市民が主体となる森づくりとは？ 講師：柿澤 宏昭 第7回：森づくり活動の一步先をめざして 出演：いわて森林再生研究会・時ノ寿の森クラブ・里山倶楽部

2. ネットワークに関する事業

(1) 森林と市民を結ぶ全国の集い

[助成事業・協力事業]

実施期間	2016年4月～2017年3月
実施場所	本会事務所、東京農業大学、文京シビックセンターほか
主担当者	鹿住、中沢、原田、宮本
従事者の人数	4名
受益対象者の範囲及び人数	347名（下記開催の参加者と幹事会・実行委員会・準備会の参加者総数）
会議等の実施日時・人数	<ul style="list-style-type: none"> ・6/11～12 森林と市民を結ぶ全国の集い in 東京 場所：東京農業大学 人数：238名 ・「森林と市民を結ぶ全国の集い in 東京」実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> 4/7第6回 場所：文京シビックセンター 人数：10名 5/7 第7回 場所：東京農業大学 人数：13名 6/2 第8回 場所：文京区民センター 人数：14名 6/28 第9回 会場：TKP市ヶ谷 会議室 人数：13名 ・8/26 「森林と市民を結ぶ全国の集い」幹事会 場所：国土緑化推進機構 人数：6名 ・「森林と市民を結ぶ全国の集い in 京都」実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> 7/25 準備会 場所：京都府林業会館 人数：6名 9/29 第1回 場所：京都木材会館 人数：11名 10/28 第2回 場所：京都木材会館 人数：11名 1/23 第3回 場所：京都木材会館 人数：14名 3/17 第4回 場所：京都木材会館 人数：11名
2016年度報告	第20回を2016年6月11日～12日に東京農業大学で開催。実行委員会を立ち上げ、東京事務局として企画・運営を実施した。なお、前回の福島開催の流れから、福島からの参加者や、若い世代の参加者がつながるきっかけをつくることができた。また、第21回が2017年6月10日～11日に京都府立大学ほかで開催される予定で、実行委員として準備を進めた。

(2) 森林づくり活動実態調査についての分析とモデル団体調査

[補助事業]

実施期間	2016年4月～2017年3月
実施場所	本会事務所、文京シビックセンター
主担当者	宮本
従事者の人数	1名
受益対象者の範囲及び人数	1232団体、89名
会議等の実施日時・人数	<ul style="list-style-type: none"> ・8/5 第1回検討委員会 場所：文京区男女平等センター 人数：11名 ・10/11 第2回検討委員会 場所：文京シビックセンター 人数：9名 ・2/4 第7回連続講座 場所：東京大学農学部弥生講堂アネックス 人数：60名 ・2/24 第3回検討委員会 場所：文京区男女平等センター 人数：9名

2016 年度報告	前年度の森林づくり活動実態調査結果の詳細な分析作業を進めた。また検討委員会を立ち上げ、分析データに基づいた意見交換と今後の森林づくり活動を担うモデル 10 団体を選定した。選定された 10 団体を調査し、調査結果と分析結果をまとめて、報告書を作成し、実態調査協力団体に送付した。また本事業成果のフィードバックとして、森づくり活動を行う 3 団体を招き、第 7 回「森から人へ人から森へ」を開催した。
-----------	---

(3) 森づくり団体の意見交換会

[助成事業]

実施期間	2016 年 4 月～2017 年 3 月
実施場所	文京シビックセンター、文京区男女平等センター、本会事務所
主担当者	石山、松井、宮本
従事者の人数	3 名
受益対象者の範囲及び人数	29 名
会議等の実施日時・人数	11/15 16 名 11 団体、2/14 13 名 11 団体
2016 年度報告	東京都西多摩エリアの森林づくり活動団体との情報交換を開催した。1 回目は林野庁の森づくり団体実態調査の報告、グリーンボランティア保険等の説明を行い、各団体から活動紹介と課題を挙げてもらった。2 回目は、各団体の共通の団体紹介のパンフレットを作成し配布することと各団体のフィールドで初心者を受け入れるイベントを開催することを話し合った。尚パンフレットは計 8 団体の情報掲載する形で作成した。

(4) プルデンシャル生命保険による寄付事業

[受託事業]

実施期間	2016 年 4 月～2017 年 3 月
実施場所	本会事務所
主担当者	久保田、宮本
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	42 都道府県 56 団体
2016 年度報告	昨年度に引き続き実施、寄付金総額は 19,172,650 円でうち森づくり活動団体向け 14,372,678 円、被災地支援分 4,799,972 円となり、昨年度より 3,740,021 円増額となった。10 月に各団体へ送金した。また同月には、西多摩自然フォーラムの協力の下、「青梅の森」でのプルデンシャル社員の森林ボランティア活動の受け入れを行った。

3. 人材育成の事業

(1) 市民・子どものための森林・環境教育総合講座

[助成事業]

実施期間	2016 年 4 月～2017 年 3 月
実施場所	東京都八王子市西浅川町
主担当者	松井、樋口
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	47 名
会議等の実施日時・人数	5/29 29 名、9/25 18 名
2016 年度報告	木下沢溪谷冒険の森の会の協力により、木下沢一帯において親子自然体験イベントを開催し、森林環境学習を行った。

(2) 森林・環境教育総合講座シンポジウム

[助成事業]

実施期間	2016 年 4 月～2017 年 3 月
実施場所	TKP カンファレンスセンター、本会事務所ほか
主担当者	石山、松井、宮本
従事者の人数	3 名
受益対象者の範囲及び人数	80 名
会議等の実施日時・人数	4/17 TKPカンファレンスセンター 80 名
2016 年度報告	4/17にシンポジウム「森づくり・野外活動の安全を考える」を開催。今

	回初めて参加者を4班に分け、登壇者を交えたグループディスカッションを行った。
--	--

4. 森林ボランティア活動支援の事業

(1) グリーンボランティア保険業務

[自主事業]

実施期間	2016年4月～2017年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	久保田、宮本
従事者の人数	2名
受益対象者の範囲及び人数	以下表を参照
2016年度報告	登録団体数・保険利用件数・保険利用人数は増加傾向で推移している。保険料の減少は、賠償責任部分における最低保険料引下げの影響と考えられる。

<登録団体数> 2017年3月31日現在

前年度	新規登録	退会・未更新	今年度	前年度比
460	90	△76	474	103%

<件数> (2015年4月1日～2016年3月31日までの実績)

	第一種		第二種		賠償責任部分		合計	
	前年度比 (%)		前年度比 (%)		前年度比 (%)		前年度比 (%)	
保険利用件数	3,196	170	3,381	174	6,577	172	6,577	172
保険利用人数	39,824	98	15,254	112	55,078	102	55,078	102
保険料	2,921,512		7,832,664		7,143,640		17,897,816	122
事故件数	32	139	14	93	5		51	134
保険金支払い額							6,364,824	35.6

<件数> (2016年4月1日～2017年3月31日までの実績)

	第一種		第二種		賠償責任部分		合計	
	前年度比 (%)		前年度比 (%)		前年度比 (%)		前年度比 (%)	
保険利用件数	3,470		3,768		7,238		7,238	106.3
保険利用人数	41,890		16,203		58,093		58,093	102.8
保険料	2,960,568		8,391,263		5,984,900		17,336,731	93.4
事故件数	13		17		3		33	183

(2) 森林ボランティア安全対策の提言

[自主事業]

実施期間	2016年4月～2017年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	久保田、宮本
従事者の人数	2名
2016年度報告	森づくりフォーラム機関誌にて、安全・技術に関する連載記事を開始し、安全対策の普及に努めた。またグリーンボランティア保険のパンフレット作成業務を行い、完成した。

5. フィールド事業

(1) フォレスト21「さがみの森」

[助成事業]

実施期間	2016年4月～2017年3月
------	-----------------

実施場所	仙洞寺山国有林「さがみの森」19.28ha（神奈川県相模原市緑区青山）											
主担当者	宮本											
従事者の人数	1名											
受益対象者の範囲及び人数	253名											
会議等の実施日時・人数	日時	4/9	5/14	5/22	6/11	6/26	7/24	9/10	9/25	10/8	10/23	11/12
	人数	16	13	9	16	15	16	15	11	5	13	20
	日時	11/27	12/10	12/23	1/14	1/29	2/11	2/26	3/13	3/28		
	人数	9	8	18	14	10	13	13	16	-		
2016年度報告	今年度で造成20周年を迎え、11月に記念イベントとしてバームクーヘンづくりを行った。間伐体験を定例的に行い、チャーシューづくりなどの新たな取り組みを組み入れたりすることで参加者促進を図った。連絡協議会は月1回第2火曜日に実施、また地元猟友会と獣害・虫害に対して協議した。											

(2) 多摩の森・大自然塾 森林ボランティア講座 [受託事業]

実施期間	2016年6月～2017年2月											
実施場所	東京都奥多摩町鳩ノ巣											
主担当者	松井、樋口											
従事者の人数	2名											
受益対象者の範囲及び人数	計80名											
会議等の実施日時・人数	・基礎講座 ①6/25 29名 ②7/23 28名 ③9/10 23名 ④10/22 22名 ・応用-実践講座 ①11/1 11名 ②12/10 17名 ③1/14 16名 ④2/11 12名											
2016年度報告	東京都環境局が森林ボランティアの底辺拡大と指導者等の育成の毎年開催している講座。6月から翌2月まで基礎講座、応用・実践講座を8回、森林インストラクター東京会の協力で実施した。											

(3) 多摩の森・大自然塾 定例活動 [自主事業]

実施期間	2016年4月～2017年3月												
実施場所	東京都奥多摩町鳩ノ巣												
主担当者	松井、鹿住												
従事者の人数	2名												
受益対象者の範囲及び人数	478名												
会議等の実施日時・人数	日時	4/17	5/15	6/19	7/17	8/21	9/18	10/16	11/20	12/18	1/15	2/19	3/19
	人数	44	47	47	48	51	37	33	33	43	33	43	53
2016年度報告	コープみらいと BESS フォレストクラブ、林野庁の森林・山村多面的機能発揮交付金の支援のもと、JUON（樹恩）NETWORK、森林インストラクター東京会とともに毎月第3日曜日に開催した。												

(4) 企業の森 [受託事業]

実施期間	2016年4月～2017年3月											
実施場所	東京都青梅市2箇所											
主担当者	久保田、宮本											
従事者の人数	2名											
受益対象者の範囲及び人数	60名											
会議等の実施日時・人数	6/11 リコーロジスティクス、7/30 カナデン。いずれも場所は青梅市。人数はそれぞれ約30名。											
2016年度報告	下刈作業の事業期間が終了する場所も出てきたため、2箇所の実施にとど											

	まった。いずれも下刈体験で、西多摩自然フォーラム、森林インストラクター東京会の協力により実施した。
--	---

(5) 木下沢渓谷冒険の森

[助成事業]

実施期間	2016年4月～2017年3月												
実施場所	東京都八王子市裏高尾町												
主担当者	松井、樋口												
従事者の人数	2名												
受益対象者の範囲及び人数	158名												
会議等の実施日時・人数	日時	4/2	5/2	6/2	7/2	8/2	9/2	12/2	1/2	2/2	3/26	-	
	人数	4	2	6	4	2	5	5	2	6	4	-	
2016年度報告	高尾山周辺で活動する森づくり団体に構成されている「木下沢渓谷冒険の森の会」として、毎月第4日曜日に定例活動を実施した。												

II. 総務に関する事項

1. 会議

- (1) 第16回通常総会 2016年4月17日
- (2) 第34回定期理事会 2016年4月16日
- 第35回定期理事会 2017年1月21日
- (3) 運営委員会 2016年4月8日、5月12日、7月6日、8月26日、
9月15日、10月17日、11月15日、
12月20日、
2017年1月12日、2月14日、3月14日
- (4) 中長期ビジョン検討会 2017年3月28日
- (5) 広報委員会 ※運営委員会と併催

2. 会員の拡大

実施期間	2016年4月～2017年3月
実施場所	本会事務所・主催及び関連イベント
主担当者	運営委員会及び事務局
従事者の人数	7名
受益対象者の範囲及び人数	会員数は以下推移表を参照。
2016年度報告	森づくりフォーラムのリーフレットを講座参加者、全国の集い参加者に配布した。機関誌内容をアップデートし内容を充実させた。また各事業を通じた新規入会への働きかけに努めた。

会員数の推移(2017年3月31日現在)

	前年度 会員数	新規 会員数	退会 会員数	今年度 会員数
個人正会員	117	3	3	117
個人賛助会員	75	4	6	73
個人会員計	192	7	9	190
団体正会員	65	2	2	65
団体賛助会員	3	0	0	3
団体会員計	68	2	0	68

3. 機関誌『森づくりフォーラム』の発行

実施期間	発行回数4回（春季4月、夏季7月、秋季10月、冬季1月）
実施場所	本会事務所
主担当者	中沢、松井、宮本、村田
従事者の人数	4名
受益対象者の範囲及び人数	延べ2,500名（会員及び情報提供先700部×1回、600部×3回）
2016年度報告	現行の年4回（季刊）発行体制を継続した。団体会員の紹介や、安全対策に関する連載記事、森林社会学研究会の取組に関する連載記事を掲載した。森林と市民を結ぶ全国の集いや、総会シンポジウム等で会員以外にも配布し、情報発信に努めた。

4. メールマガジン『森フォ通信』の発行

実施期間	発行回数24回（月2回）
実施場所	本会事務所
主担当者	中沢、宮本
従事者の人数	2名
受益対象者の範囲及び人数	1,660名
2016年度報告	現行の月2回（概ね1日と15日）発行体制を継続した。ホームページやフェイスブックにて継続的な告知、講座参加者やグリーンボランティア保険新規登録団体の登録を行った結果、登録者数は1,660名となった。

5. ホームページ、フェイスブックによる情報発信

（1）ホームページの更新

実施期間	2016年4月～2017年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	中沢、松井、宮本
従事者の人数	3名
受益対象者の範囲及び人数	延べ12,000アクセス（閲覧件数平均1,000回/月）
2016年度報告	講座・イベント等の告知を定期的に行った。また、グラムデザインの協力のもと、HPリニューアルの準備を進めた。

（2）フェイスブック

実施期間	2016年4月～2017年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	中沢、松井、宮本
従事者の人数	3名
受益対象者の範囲及び人数	約1,900名
2016年度報告	記事を掲載できるタイムライン上に、メールマガジンの配信告知、シンポジウムなどのイベント告知などの情報提供を行った。結果、フェイスブックページへの「いいね！」は700件増加した。

6. 各種委員会への出席

- ・ 森林・山村多面的機能発揮交付金東京都・埼玉県・神奈川県ブロック企画委員会（4/16 松井）
- ・ 「森林と市民を結ぶ全国の集い」全国幹事会（8/26 鹿住・中沢）
- ・ 森づくり安全技術・技能全国推進協議会理事会（9/6 松井）
- ・ 東京都緑の募金運営協議会（9/7 松井）
- ・ 全国育樹祭東京都実行委員会（11/17 久保田）
- ・ 東京都花粉の少ない森づくり運動推進委員会幹事会（12/9 久保田）
- ・ 東京都森林審議会（12/14 久保田）
- ・ 東京都花粉の少ない森づくり運動推進委員会（1/24 久保田）

- ・ 東京都緑の募金運営協議会 (2/9 松井)
- ・ セブンイレブン記念財団環境市民活動助成専門審査会 (2/17 原田)

Ⅲ. 事務局体制

- < 常務理事 > [非常勤]
鹿住 貴之 認定 NPO 法人 JUON (樹恩) NETWORK
- < 理事 > [非常勤]
松井 一郎
- < 事務局職員 >
宮本 至 [常 勤]
中沢 和彦 [非常勤]
樋口 満里 [非常勤]
- < ボランティアスタッフ >
村田 央

Ⅳ. 運営委員会体制

首都圏在住の理事を中心として構成し、原則毎月 1 回程度、必要な事項を協議する。構成メンバーは、上記理事、事務局常勤職員のほか次のとおり。

- < 副代表理事 >
原田 敏之 愛知生態系ネットワーク協議会
- < 理事 >
久保田繁男 西多摩自然フォーラム
- < 理事 >
石山 恵子 遊学の道 Project
- < 事務局職員 >
中沢 和彦